

ニチバン株式会社

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

証券コード： **4 2 1 8**

2024年11月14日
代表取締役社長
高津 敏明

- メディカル／テープ 両事業セグメントの販売価格改定の浸透により増収・増益
- ヘルスケアフィールド、グローバルフィールドが拡大
- テープ事業セグメントの収益性が大幅改善

2025年3月期 2Q累計		実績	前年同期 実績	対前年同期 増減率	計画値	対計画値 増減率
売上高	百万円	23,759	22,458	+5.8%	23,400	+1.5%
売上総利益	百万円	7,243	6,427	+12.7%	—	—
販管費	百万円	6,069	5,898	+2.9%	—	—
営業利益	百万円	1,174	529	+121.8%	800	+46.8%
売上高営業利益率	%	4.9	2.4	+2.5pt	—	—
経常利益	百万円	1,227	637	+92.4%	900	+36.3%
当期純利益	百万円	809	432	+87.3%	600	+35.0%

連結業績の概況（四半期別）

■前年1Q～2Qは、販売価格浸透前。また、生産移管による生産性低下あり。

2025年3月期 四半期別		1Q		2Q		3Q		4Q	
		実績	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減率
売上高	百万円	11,524	+5.6%	12,234	+6.0%	—	—	—	—
売上総利益	百万円	3,500	+8.1%	3,743	+17.4%	—	—	—	—
販管費	百万円	2,986	+3.3%	3,083	+2.6%	—	—	—	—
営業利益	百万円	514	+48.6%	660	+260.1%	—	—	—	—
売上高営業利益率	%	4.5	+1.3pt	5.4	+3.8pt	—	—	—	—
経常利益	百万円	587	+32.1%	640	+231.1%	—	—	—	—
当期純利益	百万円	333	+18.6%	476	+215.3%	—	—	—	—

連結業績の概況（セグメント別）

- メディカル／テープ 両事業セグメントの販売価格改定が浸透
- ヘルスケアフィールド、グローバルフィールドが拡大
- テープ事業セグメントの収益性が大幅改善

2025年3月期2Q累計	メディカル事業		テープ事業		合計	
売上高（百万円）	実績	対前年同期増減率	実績	対前年同期増減率	実績	対前年同期増減率
ヘルスケア	7,317	+7.0%	—	—	7,317	+7.0%
EC	541	+29.5%	1,945	+7.9%	2,486	+11.9%
ステーションナリー	—	—	2,244	△3.3%	2,244	△3.3%
医療材	2,832	△4.5%	—	—	2,832	△4.5%
工業品	—	—	6,410	△0.2%	6,410	△0.2%
グローバル	1,116	+72.6%	1,351	+29.7%	2,467	+46.1%
売上高合計	11,807	+8.6%	11,951	+3.1%	23,759	+5.8%

（売上高合計：セグメント間内部売上調整前）

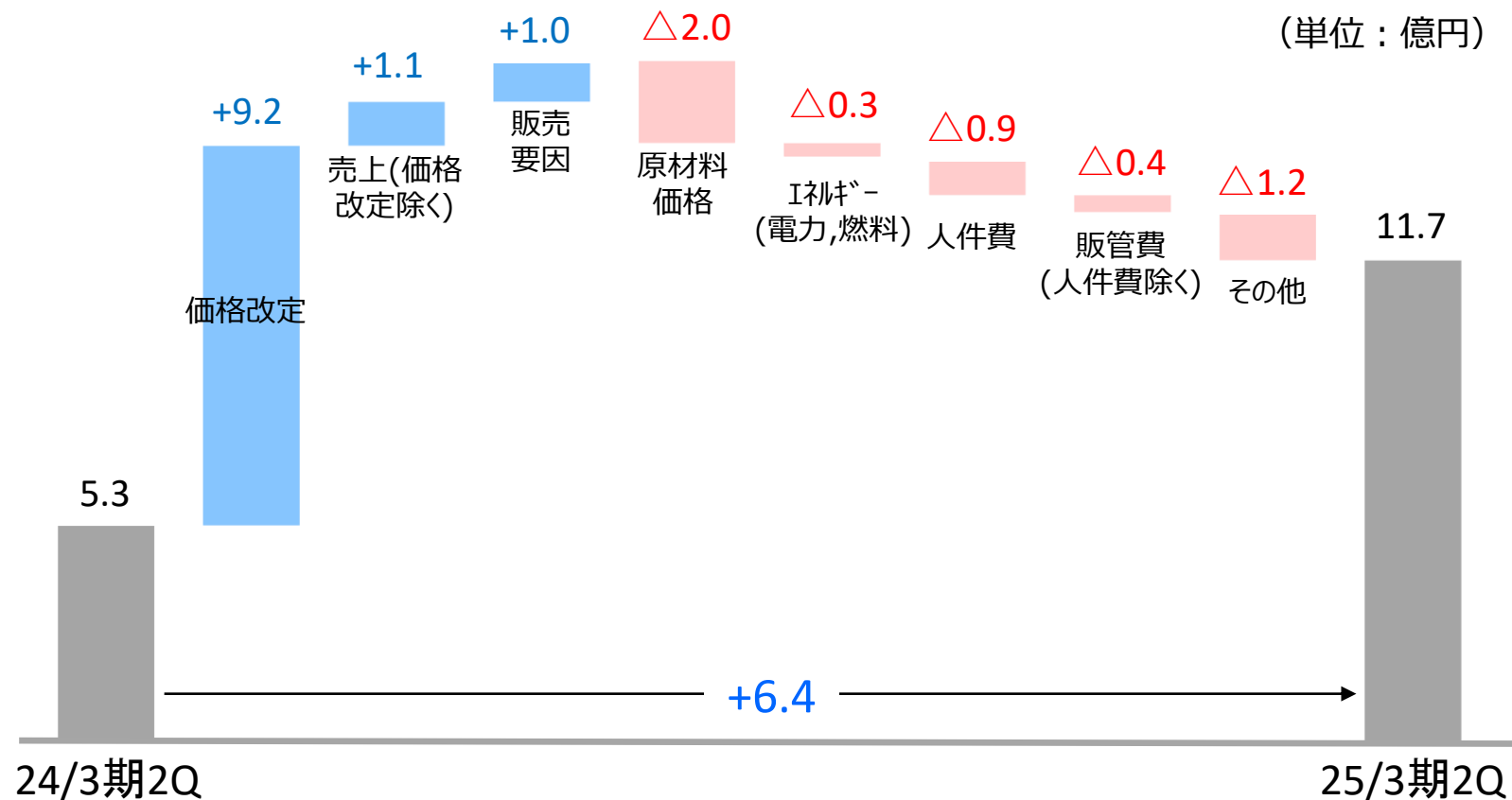
セグメント利益	3,120	+7.8%	393	—	3,513	+26.8%
---------	-------	-------	-----	---	-------	--------

（セグメント利益：セグメントに帰属しない一般管理費の調整前）

参考：前年同期実績

2024年3月期2Q累計 セグメント利益又は損失(△)	2,895		△124		2,770	
--------------------------------	-------	--	------	--	-------	--

- メディカル／テープ 両事業セグメントの販売価格改定の浸透
- 原材料価格高騰は、依然として継続



- 工場における主な設備投資は、2023年3月期までに工事完了し、2024年3月期に本格稼働している。大型設備投資は一段落。

		21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 2Q実績	25/3期 計画
設備投資	百万円	2,755	3,981	4,092	1,803	477	2,407
減価償却費	百万円	2,342	2,545	2,757	2,792	1,551	2,883

- 研究開発費は増加傾向。2025年3月期も継続的に投資し、当社の強みであるBtoBとBtoCを合わせた新規創出や、グローバル視点での製品開発の取り組みを強化する。

		21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 2Q実績	25/3期 計画
研究開発活動費	百万円	1,064	1,057	1,110	1,202	623	1,335

売上高・前年同期比

売上高 7,317百万円、対前年同期増減率+7.0%

■ケアリーヴ™ +13%

PR活動を積極展開

(テレビCM、キャンペーン、試供品配布)

昨年9月に価格改定



■ロイヒシリーズ △2%

インバウンド需要は継続するも、自然災害の影響で
夏季シーズンのインバウンド需要が一時的に低迷
今期中に販売価格改定

(開始日や改定幅等の詳細は、後日当社ホームページでご案内)



■バトルウィン™シリーズ +4%

スポーツ関連消費堅調。バトルウィン™指プロテクター™
を通じた日常のケアも普及推進
昨年9月に一部製品の価格改定



新製品・トピックス



2024. 7 ケアリーヴ™治す力™ 新CM「貼ってうれしい、治ってうれしい」篇



2024. 7「ロイヒを体感！試供品プレゼントキャンペーン」

購買行動の変化を的確に捉え、「いつでも・どこでも」を実現する
リアル店舗、ECサイトでの買い場を創出

ステーションリー 売上高・前年同期比

売上高 2,244百万円、対前年同期増減率△3.3%

■セロテープ® +1%

価格改定により売上高は前年より微増

■ナスタック™ △6%

需要低迷と買い場の変化で売上高は前年より減少



EC 売上高・前年同期比

売上高 2,486百万円、対前年同期増減率+11.9%

■セロテープ® +12%

価格改定により売上高は前年より伸長

■ナスタック™ +2%

買い場の変化により売上高は前年より微増

■ケアリーヴ™ +54%

オンライン購買に対するWEBマーケティング強化



新製品・トピックス



2024.5 重量感のある南部鉄製
テープカッター大巻用南部大型
岩手県奥州市ふるさと納税の返礼品に採用



2024.9 軽い力で封止め作業ができる
バッグシーラー ホワイト



"ハイクロール™"に
短い2mタイプが登場！



ハイドロコロイドの程良い厚みと、
ポリウレタンフィルムの滑り性で皮膚を保護する
国内生産のハイドロコロイドテープです。

ECにおける在宅医療への取り組み強化

ECサイトに在宅医療分野の認知向上

お試しサイズ(ショートタイプ)がEC先行販売で好評、全国販売へ

売上高・前年同期比

売上高 2,832百万円、対前年同期増減率△4.5%

■巻絆創膏 +1%

競合他社品からの切替採用が進展



■止血製品 △4%

前年同期のワクチン需要が消失



■ドレッシング材 △1%

一部海外廉価品との競合あり

エコー下穿刺手技の普及活動により
高付加価値製品へ注力



新製品・トピックス



2024.5 天然ゴムラテックス不使用の自着包帯
「くつつくバンデージ™NL」



2024上期 学会でカテリープラス™エコーのPR活動を展開

売上高・前年同期比

売上高 6,410百万円、対前年同期増減率△0.2%

■ 業務用セロハンテープ・包装用テープ △2%

業務用セロハンテープは価格改定が浸透
一方、包装用カートンテープは仮需の反動で低下
フードパックテープ™長尺品は機械メーカーとのコラボで拡大



■ マスキングテープ +4%

自動車メーカーの新車生産台数回復により
耐熱マスキングテープが好調

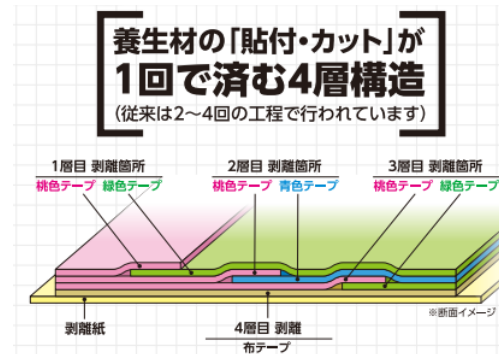


■ 結束用テープ ±0%

野菜結束用途、ハム・ソーセージ結束用途を
中心に堅調推移



新製品・トピックス



2024.4 セコたん™積層養生テープCM-9041 (建築用)
国土交通省NETIS (新技術情報提供システム) へ新登録



2024.9 日経MJ誌面へセロテープ®新聞広告第7弾掲載
Small Action For the Future 賛同企業・団体数134社

売上高・前期比

売上高 2,467百万円、対前年同期増減率+46.1%

■ケアリーヴ™ +111%

前期の在庫調整が一巡し、韓国やタイで好調

■止血製品 +58%

中国や欧州での採用拡大により伸長

■Panfix™ セルローステープ° +30%

前々期の価格改定前の駆け込み需要の反動による

前期の在庫調整が一巡し、成長基調復活

■マスキングテープ° +76%

欧州や中国市場に注力、特に欧州で伸長

地域別 売上構成比

アジア 58% (前期58%)

欧州 32% (前期30%)

その他 (オセアニア、北米、等) 10% (前期12%)

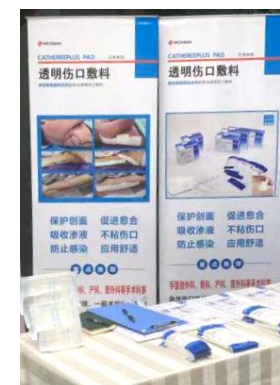
新製品・トピックス



2024.7【中国】上海駐在員事務所開設

中国市場への参入可能性について検証

(既存事業、EC事業、新規事業)



2024.7【中国】雲南省マイクロサージャリー学会

カテリープラス™パッドが上海で医療保険適用

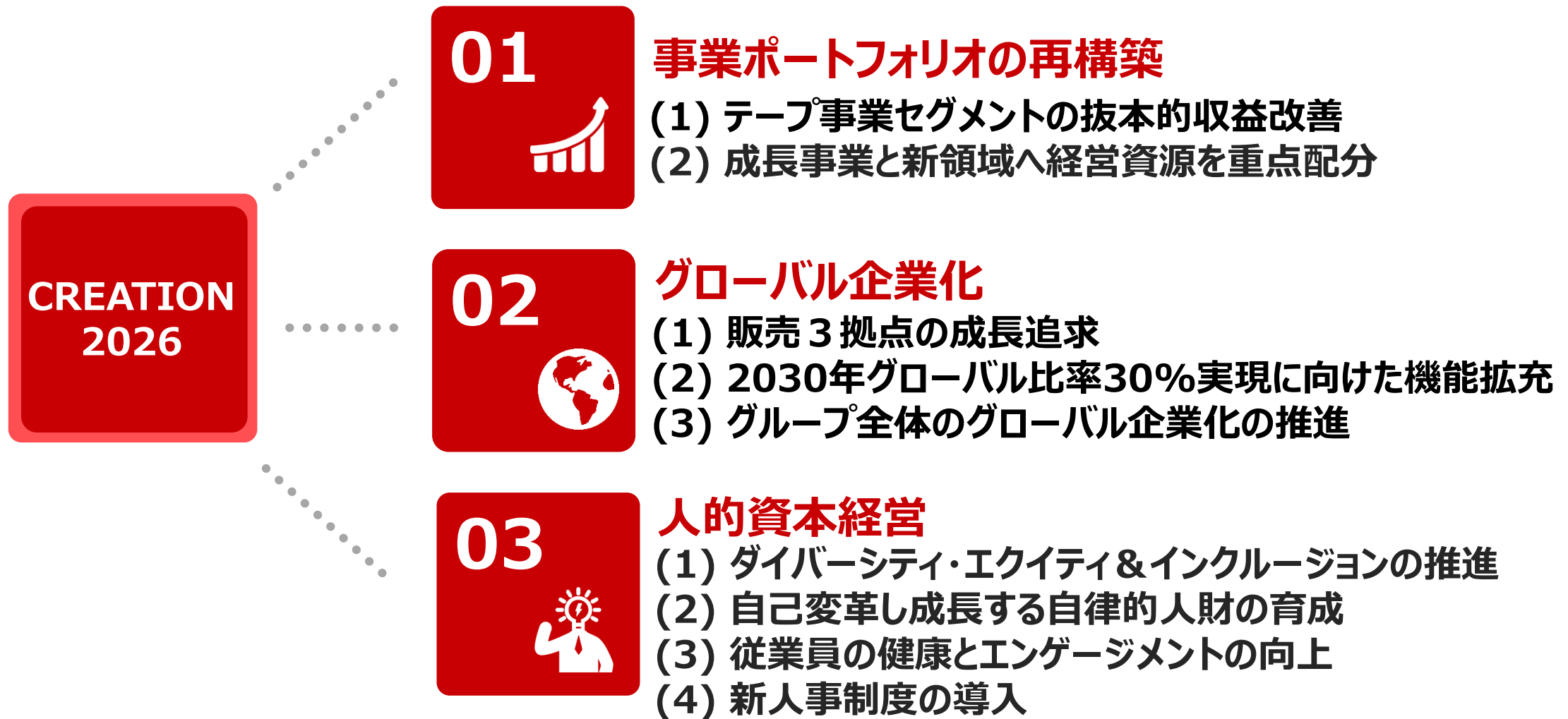
学会を活用し認知向上



2024.8【タイ】NIPPON HAKU BANGKOK 2024

企業ブランド認知向上へ貢献

	ISHIZUE 2023		CREATION 2026		
	2023年度		2024年度	2025年度	2026年度
売上高(億円)	469	▶▶▶	486	500	530
営業利益(億円)	21	▶▶▶	24	32	45
経常利益(億円)	22	▶▶▶	25	33	46
当期純利益(億円)	18	▶▶▶	19	25	35
ROE	4.4%	▶▶▶	—	—	8%以上
新製品比率	6.2%	▶▶▶	—	—	15%
グローバル比率	8.5%	▶▶▶	—	—	15%



01



事業ポートフォリオの再構築

- ▶ ヘルスケアフィールド、グローバルフィールドの着実な成長
- ▶ テープ事業セグメントの収益性が大幅に改善
- ▶ 生産・販売においてローコストオペレーションを徹底した堅実な運営
- ▶ 前期に実施した価格改定効果の確実な浸透（一部は今期から実施）

02



グローバル企業化

- ▶ 中国・上海における駐在員事務所開設
中国市場への参入可能性について検証（既存事業、EC事業、新規事業）

03



人的資本経営

- ▶ 本社及び東京オフィスの移転（2025年）
- ▶ グローバルトレーニー制度を開始
- ▶ 次世代経営層の人財育成「経営塾」開講

【修正理由】

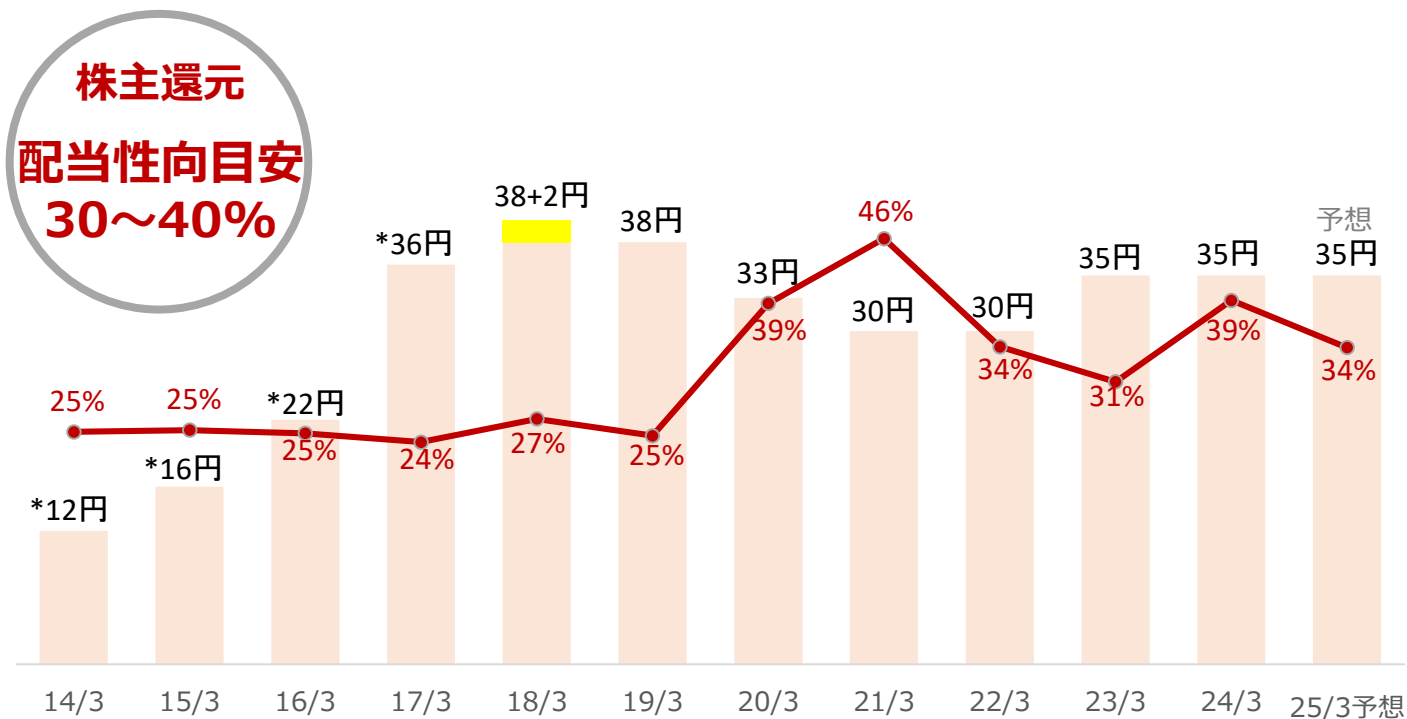
- 第2四半期の連結累計期間における業績動向を反映

【修正後の通期業績予想】

- プラス要素：ECフィールドが好調を継続。グループ最適生産体制によるコストダウンの推進
- 懸念点：テープ事業セグメントの抜本的収益改善に対する短期的コスト増加
- ロイヒつば膏の販売価格改定の今期業績への影響は不透明

		通期業績予想 (修正前)	通期業績予想 (修正後)	増減額	増減率
売上高	百万円	48,600	49,000	+400	+0.8%
営業利益	百万円	2,400	2,700	+300	+12.5%
経常利益	百万円	2,500	2,800	+300	+12.0%
当期純利益	百万円	1,900	2,100	+200	+10.5%

- 連結ベースの配当性向30～40%を目途とする、業績に連動した配当を取り入れる方針としております。



株主優待制度



(贈呈内容の例)

- 配当金
- 記念配当
- 配当性向

* 2017年10月に実施した株式併合実施後の株式数で計算



ぴったり技術で
明日をつくる

ニチバン公式ホームページ
<https://www.nichiban.co.jp/>



統合報告書2024
<https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/report/>



この資料には、当社の現在の計画や業績見通し等が含まれています。
それら将来の計画や予想数値等は、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。
実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。